

【生活科】

1 昨年度の授業改善推進プランの検証・評価

<p>○児童が植物や生き物を飼育して世話をしたり、身の回りの物を使って遊んだり工夫したりすることで、多くのことに気付くとともに、知識や経験が豊かになった。生活科の学習を楽しみにしている児童が非常に多い。</p> <p>○スタートカリキュラムを基に学習内容を編成することで、入学から早い段階で小学校に慣れ、入学当初から学びに向かうことができた。</p> <p>△コロナ禍で地域の方との交流する機会が限られてしまったため、地域の一員としての自覚が低い。今年度は、地域の方との交流の機会を積極的に増やし、地域の一員としての自覚をもたせる必要がある。</p>

2 学習状況の分析と課題

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
調査結果の分析	<ul style="list-style-type: none"> 季節の変化や自然の不思議さ、自然の中で遊ぶ楽しさに気付き、自然物や必要な道具を使って遊んだり、物をつくったりすることができた。 タブレットを活用して、動植物の成長の様子を写真で記録することができた。見付ける、比べる、例えることができ、理科での観察などに関する基本的な技能を身に付けることができた。 生き物や植物との関わりを通して、生命をもっていることや生長していること、また、上手に世話ができるようになった自分自身の成長に気付くことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節の変化について考えたり、自然物を使って遊びを考えたりすることができた。 植物の色、大きさ、形などに着目し、気付いたことを絵に描き表したり、身の回りのものと比べて、「○○のように」「○○のいくつ分」など例えたりしながら変化を自分なりに観察カードに記録することができた。 生き物の変化や成長を伝え合う時間を多く設定したことで、友達に伝えたいという思いを実現したり、考えを聞き合って新しいことに気付いたりすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の育てている植物や生き物の成長を楽しみにしながら、大切に世話をすることができた。 生き物や自然に親しみをもって活動したり、学校の中の人や地域に愛着をもって関わったりすることができた。 もっと知りたい、もっとやってみたいという気持ちをもって活動することができた。 体験活動を多く設定したことで、児童が多くのことに気付くことができた。
課題	<p>生活経験に差があり、友達の活動を見ながら取り組む児童や、自分で課題解決しようとする意欲が不十分な児童も見られる。また、交流の場では、自分の気付きや考えを友達に伝えるだけになってしまい、友達の話を聞いて考えを広めたり、深めたりすることには至っていない。</p>		

3 授業の具体的な改善策

教科目標	<p>学習指導要領の教科の目標</p> <p>具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会および自然の特徴やよさ、それらの関わり方等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。</p> <p>(3) 身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。</p>
全体	<p>主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習に積極的に取り組ませるだけでなく、学習後に自らの学びの成果や過程を振り返ることで、次の学びに主体的に取り組む態度を育む。 隣の児童→グループ→クラスのように段階を踏んで伝え合いの経験を積ませることで、友達の発表や考えに触れることに繋がり、思考を広げ深められるようにする。 一人一人が感じたり考えたりしながら、対象に対する特徴やよさなどの気付きを感じられるような学習活動を設定する。
学年段階別改善策	
第一学年	<p>【身近な環境や自分についての気付きの習得】</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊びを発展させる中で気付きの質を高め、遊びを創り出すことができるようにするために、コーナーを分けたり、グループを変えたりするなどの環境を工夫する。 <p>【生活への関心・意欲を高める】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人が、興味をもって体験したり、活動したりできるように、教材の充実や時間の確保を行う。 <p>【豊かな生活になるよう考え、表現する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語の「話すこと・聞くこと」の学習で培った力を活かして、自分の気付いたこと、考えたこと、不思議に思ったことなどを友達に伝えたり、友達の発言に共感したりできるように、うなずきや簡単な言葉を使うよう示していき、できている児童を見付け、それを全体で共有していく。話し合いが進まないグループには、教師が助言したり、言葉を補足したりしていく。
第二学年	<p>【身近な環境や自分についての気付きの習得】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りの自然を利用したり、身近にある物を使ったりして、遊びや遊びに使うものを工夫して作ることを通して、素材に十分触れさせていく。 <p>【生活への関心・意欲を高める】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちで育てた野菜を観察、収穫する活動を行う際に、何を育てたいか、どのような物が必要なのかなども児童に話し合わせるなど、児童が願いをもって活動できるようにする。 <p>【豊かな生活になるよう考え、表現する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他学年や、地域の人々との交流を通して、児童が、身近な人々と関わるよさや楽しさを知り、進んで触れ合い交流しようとする場を設ける。 伝え合う活動では、自分の思いを伝えるだけでなく、友達の話したことに対して自分の考えや気持ちを伝えるなど、話し合い活動の中での良い表現を取り上げ、全体で共有、練習、掲示などに表示していく。そして語彙を増やし、表現力を高めていく。話し合いが進まないグループには、教師の助言、言葉掛けをしたり、時間を十分に確保したりして、丁寧に取り組めるようにする。

